

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立瓜破小学校 学校協議会

1 総括についての評価

- ・本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。
- ・細かく分析され、今後の課題（目標）も明確にされていると思う。
- ・不登校児童の状況について今後も子どもに寄り添った対応をお願いしたい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

○年度末の児童アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を100%にする。

- ・目標の100%には届いていないが、いじめの未然防止そして早期発見のために、いじめアンケート、担任による日々の生活指導等、学校が様々な措置を講じていることは評価できる。

年度目標：【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

○大阪市経年調査において算数科における「学力に課題の見られる児童」の割合をいずれの学年も0.5ポイント減少させる。

- ・今後も学力向上のために、基礎基本の定着をさらに図ってほしい。
- ・反復練習が効果的ではないかと思う。
- ・また、次年度へつなげてほしい。

年度目標：【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

○小学校学力経年調査において「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%にする。（令和6年度62.7%、令和6年度67.9%）

- ・読書については少しずつ上回ってきている。
- ・さらに、読書環境の充実に努める必要がある

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・子どもを力で押しさえつけるのではなく、子どもの思いを受け止め、理解しようとする取り組みをされているとのこと。
- ・今後もていねいに子どもとかわっていただきたい。